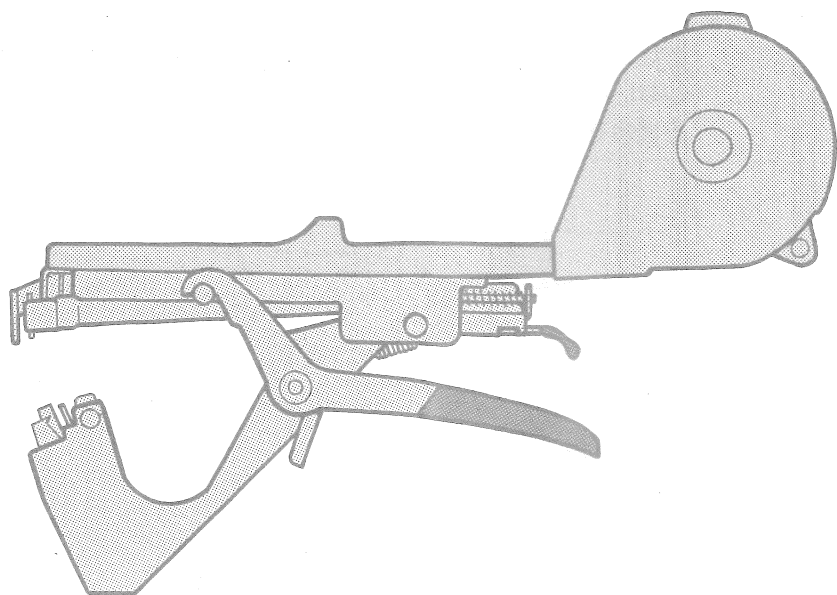


マックス園芸用誘引結束機

テフナー®《HT-B》

取扱説明書



⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用前に正常に作動するか必ず確認する。
正常に作動しない場合は絶対に使用しない。
- マガジンユニットの先端付近にはカッタ及びステープルの射出口があるため絶対に指を当てない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- カラ打ちを絶対にしない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

MAX®

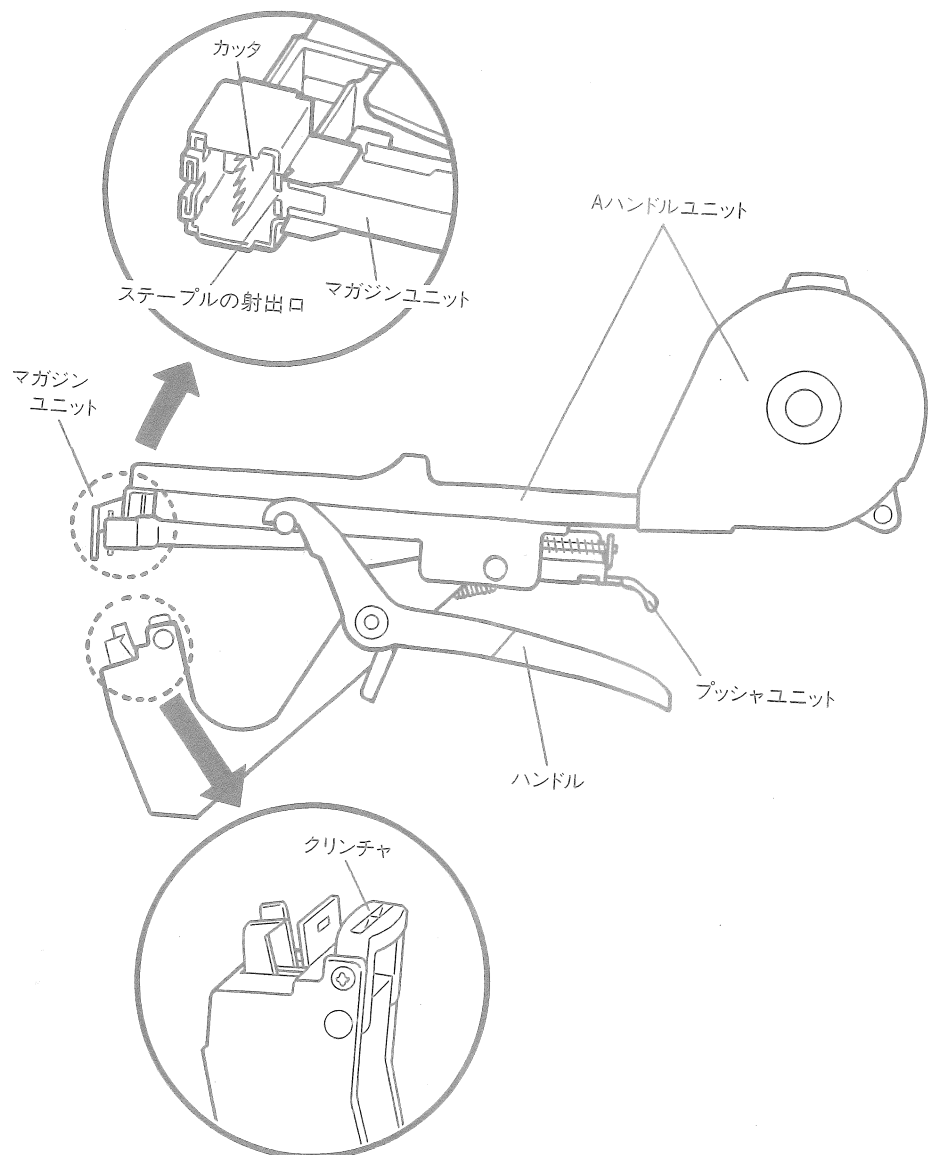
-Bをお買い上げいただきまして
ごあたって、この取扱説明書を最
注意事項、使用方法、能力などに
ご使用くださるようお願いいたし

た場合に、使用者が死亡また
される場合を表しています。
場合に、使用者が傷害を負う
び物的損害のみの発生が想定
こは、機械本来の性能を発揮
員傷につながる事が想定され

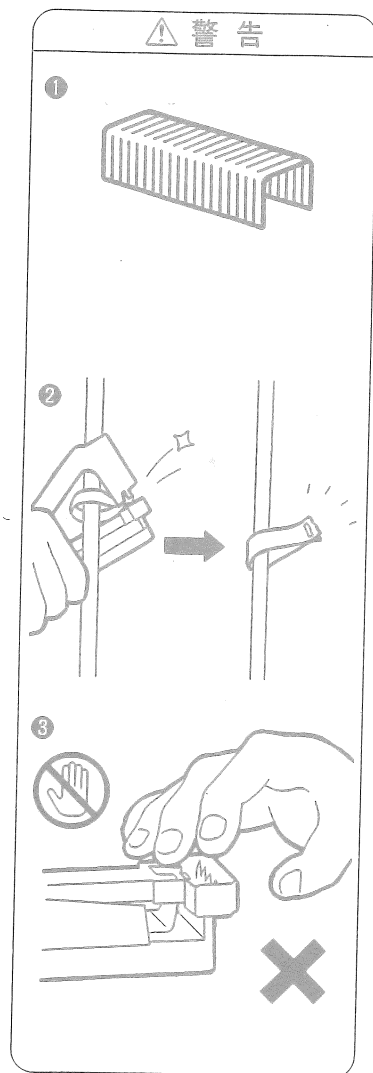
-1
-2
-4
-5
-9
-10

一覧

1 各部の名称



誘引結束、つる上げ誘引結束を行うこ
方法は重大な事故につながる恐れがあ
ださい。作業関係者以外、特に子供は
触らせないでください。

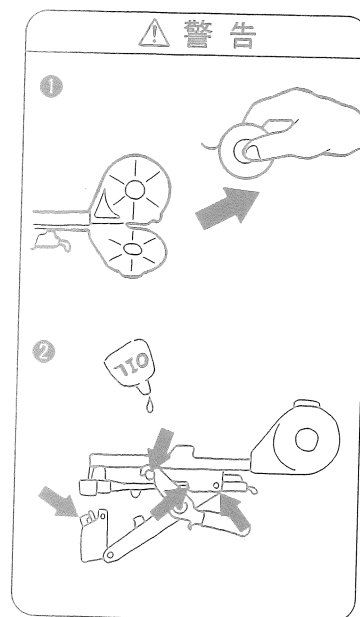
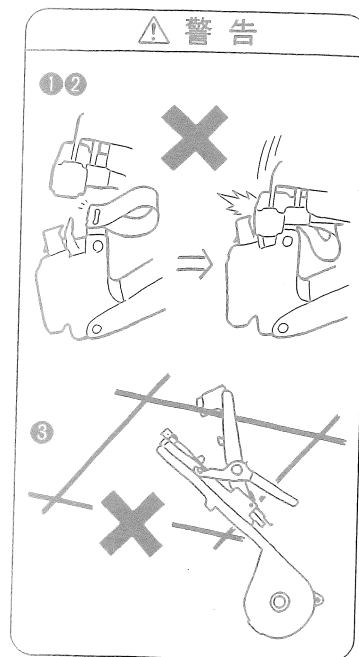


作業中

- ① 2度打ち（ステープルがクリンチャに残っているうちに、次のステープルを打つこと）を絶対にしない。
ステープルづまりなど、本機の故障の原因となりますので避けてください。
- ② 空打ちを絶対にしない。
ステープルづまりなど、本機の故障の原因となりますので避けてください。
- ③ 棚の播線・支柱に本機を絶対に掛けない。
一時的に使用を中断するとき（及び作業終了後）
本機を棚の播線や支柱等に掛けたま放置しないで
ください。落下による事故や落下による本機の故障
の原因となります。

作業後

- ① 使用後は、テープ・ステープルを機械から必ず抜き
取り保管する。
- ② 摺動部には必ず注油する。
本機の性能を維持するために、作業終了後に摺動部
に注油してください。
（9ページ 5.使用後参照）



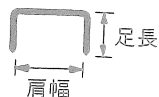
4 使用方法

【ステープルの入れ方】

⚠ 注意

- ステープルは指定のものを必ず使用する。

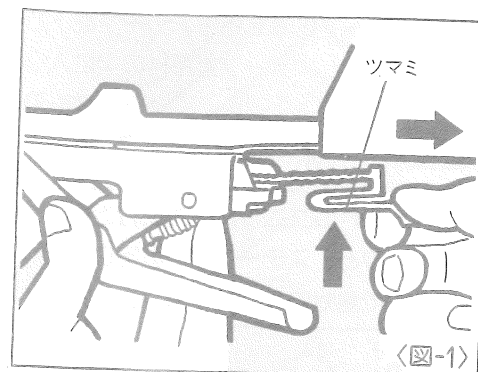
●使用ステープル



604C-L	足長4mm 肩幅6mm
604E-L	足長4mm 肩幅6mm

- ①左手で本体を握り、右手でプッシュユニットのつまみを上に押し上げ、そのまま後方へ引き出します。〈図-1〉

- ②右手でステープルをつまみ、ステープル足を下にしてマガジンユニットの中に入れ、プッシュユニットをセットします。



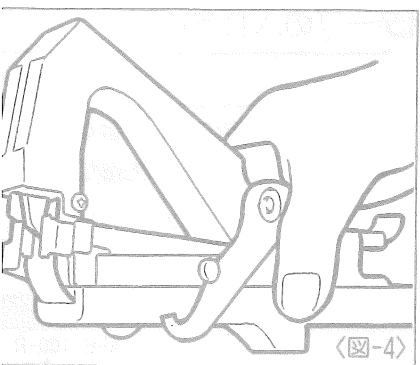
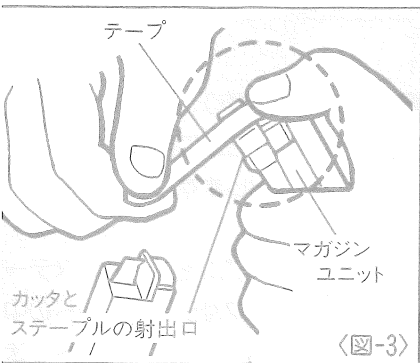
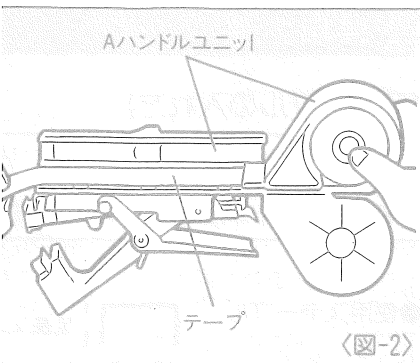
【テープの入れ方】

⚠ 注意

- テープは指定のものを必ず使用する。
- マガジンユニットの先端付近にはカッタ及びステープルの射出口があるため、絶対に指を当てない。

●使用テープ

テープ種類	製品記号	色	寸法(厚さ)×(幅)×(長さ)
光分解テープ	TAPE 100-R	クリーム	0.1mm×11mm×38m
	TAPE 200-R	ベイルグリーン	0.2mm×11mm×19m
	TAPE 200-L	ピンク	0.2mm×11mm×19m
テープナー用テープ	TAPE-10	白	0.1mm×11mm×40m
	TAPE-15	青	0.15mm×11mm×26m
	TAPE-25	赤	0.25mm×11mm×16m

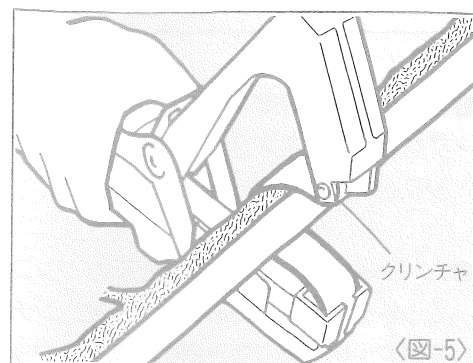


【結束方法】

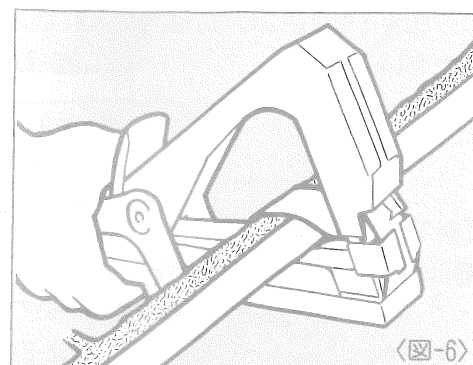
⚠ 注意

- カラ打ちを絶対にしない。
カラ打ちをしますと、ステープルづまりの原因となりますので教えてください。

- ①結束物にテープを当てがい、機械の中に入るように押し込みます。 〈図-5〉

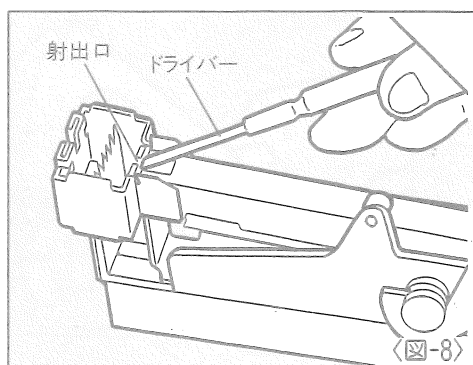
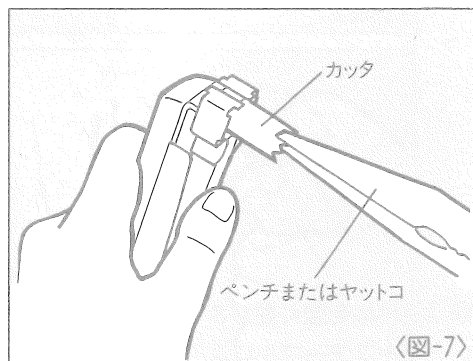


- ②ハンドルを強く握りますと、結束物はテープとステープルにより結束され、同時にテープは切断されます。 〈図-6〉



注意

ザ刃とご指定の上、お買い求めください。
出口に指を絶対に当てない。
ハットコを必ず使用する。



5 使用後

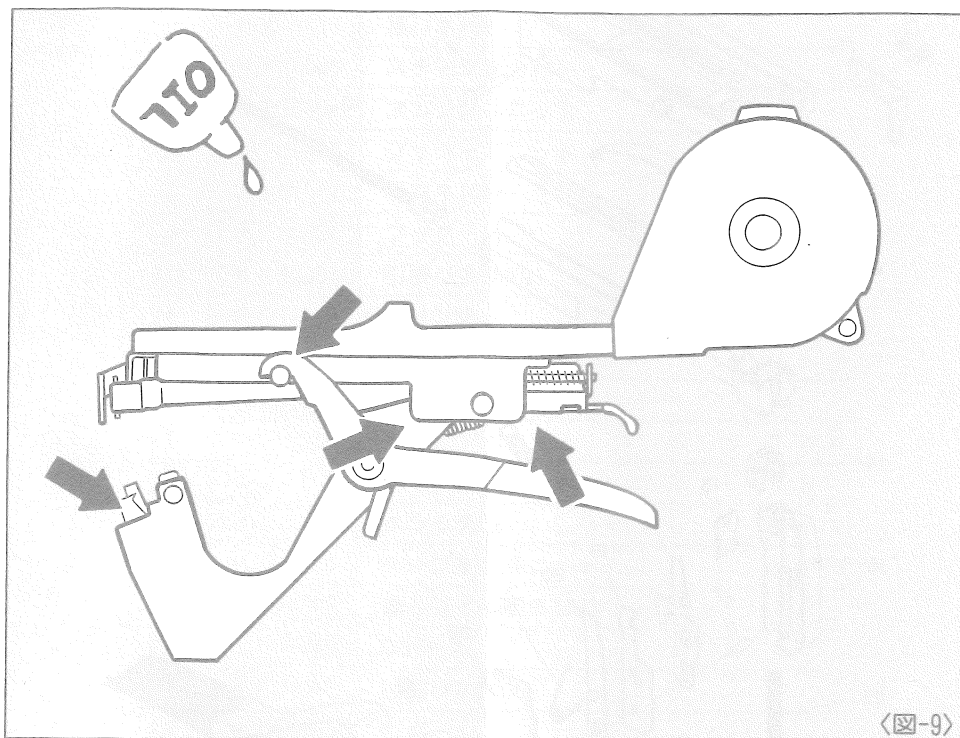
⚠ 注意

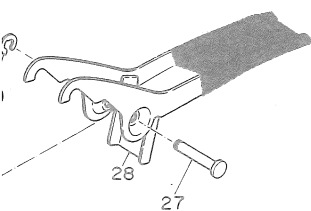
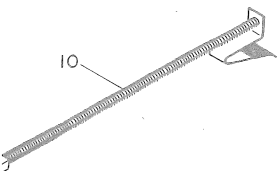
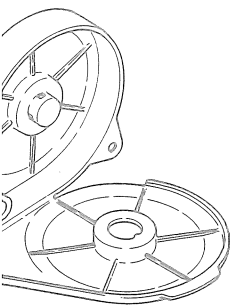
- 使用後は、テープ、ステープルを機械から必ず抜き取り、保管する。
- 摺動部には必ず注油する。

【注油部】

本機のパフォーマンスを維持するために、作業終了後は摺動部に注油してください。

<図-9>





索引番号です。
番号でなく、必ず、部品記号でご指定ください。

●部品名称

索引 番号	部品記号	部 品 名
1	H T 10063	Aハンドルユニット
2	F F 41229	段付ピン1229
③	J J 10104	E.トメワ2.3
4	H T 10066	ロッド押え
⑤	A A 21102	⊕ナベ小ネジ3×4
⑥	H T 10040	ギザ刃A
⑦	K K 51011	板バネ1011
⑧	H T 10025	ステープルカバー
⑨	H T 10001	マガジンユニット
⑩	H T 10027	プッシャユニット
⑪	K K 51012	板バネ1012
⑫	H T 10026	フック
⑬	K K 13001	引張バネ3001
⑭	H T 10013	クリンチャ
15	H T 10054	支え
16	H T 10052	Aケース
17	F F 30103	平行ピン103
18	H T 10055	プッシュロッド
19	H T 10056	クラッチ板
20	H T 10057	テープ支えユニット
21	K K 33003	振りコイルバネ3003
22	H T 10053	Bケース
23	K K 23006	圧縮バネ3006
24	H T 10059	カバー
25	H T 10051	クリンチャアーム
26	F F 41230	段付ピン1230
27	F F 41228	段付ピン1228
28	H T 10060	Bハンドルユニット
②⑨	J J 10103	E.トメワ3.2

●索引番号の○印はHT-Aと共通部品です。